

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公開番号】特開2013-66805(P2013-66805A)

【公開日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2013-12678(P2013-12678)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月22日(2013.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機の前面側に開閉可能な遊技枠と、遊技領域を形成した遊技盤と、を備え、前記遊技領域に設けた所定の始動入賞領域を遊技球が通過すると所定の補助遊技が実行され、該補助遊技の結果に対応して遊技者に特典を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

遊技の演出を行う複数系統の演出装置を系統毎に制御可能な演出制御手段を備え、前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、

前記演出制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータ信号を伝達するデータ信号線と、

を備えることにより前記グループ統括制御手段と前記各グループ単位制御手段との間でデータの伝達を可能とし、

前記グループ統括制御手段は、

前記演出装置の制御に関わる演算処理を行う演算処理手段と、

前記グループ単位制御手段と接続されて、前記演算処理手段からの指令に基づいて、該グループ単位制御手段との間の前記データ信号線及びタイミング信号線の各信号レベルを制御する複数の信号レベル制御手段と、

を含んで構成され、

前記複数の信号レベル制御手段には、前記遊技盤に設けたグループ単位制御手段と接続される第1の信号レベル制御手段と、前記遊技枠に設けたグループ単位制御手段と接続される第2の信号レベル制御手段と、が含まれ、

前記演算処理手段による演算処理と前記信号レベル制御手段による各信号レベルの制御とが、各々並行して実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

特許文献1に記載の遊技機では、高速な制御ができないという問題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、演出に必要な処理を分散させることによって、演出制御を高速化する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、遊技機の前面側に開閉可能な遊技枠と、遊技領域を形成した遊技盤と、を備え、前記遊技領域に設けた所定の始動入賞領域を遊技球が通過すると所定の補助遊技が実行され、該補助遊技の結果に対応して遊技者に特典を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、遊技の演出を行う複数系統の演出装置を系統毎に制御可能な演出制御手段を備え、前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、前記演出

制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータ信号を伝達するデータ信号線と、を備えることにより前記グループ統括制御手段と前記各グループ単位制御手段との間でデータの伝達を可能とし、前記グループ統括制御手段は、前記演出装置の制御に関わる演算処理を行う演算処理手段と、前記グループ単位制御手段と接続されて、前記演算処理手段からの指令に基づいて、該グループ単位制御手段との間の前記データ信号線及びタイミング信号線の各信号レベルを制御する複数の信号レベル制御手段と、を含んで構成され、前記複数の信号レベル制御手段には、前記遊技盤に設けたグループ単位制御手段と接続される第1の信号レベル制御手段と、前記遊技枠に設けたグループ単位制御手段と接続される第2の信号レベル制御手段と、が含まれ、前記演算処理手段による演算処理と前記信号レベル制御手段による各信号レベルの制御とが、各々並行して実行可能である。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明によれば、演算処理手段と信号レベル制御手段とが、各々が並行して動作するため、高速な処理が可能となる。